

2023年(令和5年)の挨拶



(一財)長崎県剣道連盟 会長 灰谷達明

長崎県剣道連盟の会員皆様におかれましては、陽光に恵まれ清々しい2023年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

但し、国の内外における障壁はなかなか難しく、依然としてコロナ禍は終息を見せず、ロシアによるウクライナ侵攻の悲劇は継続し多くの人命が奪われている現実がございます。

厳しい時代の中で新たに発足した今期の長崎県剣道連盟ですが、会員全てが問題を共有しながら立ち向かっていきましょう。

私自身は、武道人口の減少に対して、まずは現実を直視すること、可能な限り各種大会・研修会・錬成会・稽古会等に参加して現実に学びたいと念じております。基本錬成会では少年少女の熱意に溢れた真剣な眼差しに大きな勇気を頂きました。

また、各種大会における活躍は、刮目(かつもく)に値するものでした。

島原高校男子団体インターハイ優勝、佐世保高専の全国高専大会準優勝、長崎南山学園や少年剣士の活躍等々。更に、全日本選手権には本県出身者が4名(松尾・林田・草野・松崎)出場し、全て1回戦突破、女子では岩本選手が優秀選手に選出されましたが、いずれも見事な立合いでした。八段審査では島田貴文先生(県警)が見事難関を突破し明るい話題を提供してくれました。

居合道部や杖道部の地道な活動も見逃せません。光明を感じることも多々ございました。

伝統文化を学び、生涯修行することに勝る喜びがありませんか。今年も皆様と共に卯の年を飛翔しましょう。

